



## 学校改革に向けて

今、各地でこれからの日本の教育について様々な検討がなされています。本校も年度当初から多くの学校が抱える教育上の問題について考えてきました。PTAの執行部、学校運営協議会、町教育委員会への相談・検討を重ねてきました。その結果、本校では令和8年度より、チーム担任制を導入することとしました。これは一時的な取組ではなく、これからの社会を生きる子どもたちに必要な力を確実に育むため、学校の在り方そのものを見直す改革です。

教育は「人格の完成」を目指し、平和で民主的な社会の形成者として必要な資質を備えた人間を育てることを目的としています。人格の完成とは、知・徳・体を調和的に育み、自ら考え、判断し、他者と共によりよく生きようとする力を身に付けることです。学校は本来、将来自らの生き方を選び取るための基盤を培う場であり、人との関わりを通して自他の幸福を追求する力を育てる場であるはずで

しかし現在、社会は情報化の急速な進展と価値観の多様化が進み、子どもたちはこれまで以上に複雑な環境の中で生活しています。多様な価値観の中で他者を尊重する力、自分らしく生き方を選択する力、対話を通して課題を解決する力など、学校に求められる役割はますます大きくなっています。

一方で、学校現場では学力の二極化、落ち着かない学校生活、不登校や不登校傾向の増加といった課題も見られます。児童一人一人の一年間は二度と戻らない大切な時間です。その重みを考えると、現状を当然のものとして受け止めることはできません。

現在の固定担任制は、学級経営や授業づくりを担任一人に大きく依存する仕組みです。教員の経験や得意分野には違いがあり、また人と人との関係には相性も存在します。その影響を児童が一年間受け続ける可能性があるという点は、構造的な課題と言えます。問題事象が起きた際も、担任が学級全体への対応と個別対応を同時に担うことになり、十分な支援が行き届かない場合もあります。

こうした課題を踏まえ、本校では「学級を担任一人で見守る」のではなく、「学年の児童を学年に配置された教職員全員で育てる」チーム担任制を導入します。複数の視点で児童を理解し、情報を共有しながら支援する体制を整えます。この取組により、学級間の授業や生活指導の差を小さくし、どの学級に所属していても一定の質が保障された学びと学校生活を実現します。これは児童にとっての学びの平等性を高める取組です。また、児童一人一人にとって「この先生なら話せる」「この先生に相談したい」と思える相手は異なります。関わる教員が

広がることで、安心して相談できる機会が増え、困り感を一人で抱え込まない環境づくりにつながります。

もちろん、関わる教員が増えることに戸惑いを感じる児童が出る可能性もあります。学校としてもその点を十分に理解しています。児童にとっての相談窓口を明確にすること、日常的な情報共有を徹底すること、児童の声を丁寧に聞きながら運用を改善していくことなどを通して、不安の軽減に努めます。

チーム担任制は目的ではなく手段です。大切なのは、児童一人一人が安心して学び、自分らしい未来へ向かって歩むことができる環境を整えることです。本校は実践と検証、修正を重ねながら、よりよい形を模索し続けます。保護者・地域の皆様と共に、子どもたちの成長を支える学校を創ってまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

今回の学校だよりでは、改革の目的を中心に述べております。チームの体制につきましては、

- 1・2年生・・・従来通りの固定担任制
- 3年生・・・固定担任+教科担当制
- 4年生以上・・・チーム担任制+教科担当制



となります。

具体的な体制や動きについては、3月中旬以降に5分程度の動画配信を予定しています。

## 学校改革や今日的な状況を鑑みた行事変更

### ①運動会

5月下旬の土曜日→11月上旬から中旬の平日

- ・近年の暑さを踏まえた熱中症対策
- ・5月では準備期間が短く教師主導になりやすい
- ・アンケート結果では8割以上が秋の開催に賛成
- ・全児童が確実に参加できる平日開催が適切と判断

### ②水泳の実施時期

6月中旬から実施→5月中旬から実施

- ・気温と水温の状況を踏まえ、安全かつ十分な学習時間を確保するために前倒し



### ③修学旅行・集団宿泊教室

9月～11月実施→5月～6月実施

- ・運動会を秋に移動したことによる行事の重複回避
- ・児童が行事に主体的に取り組めるように、年間計画を整理



### ④見学旅行

1～4年生で実施→2年、4年生で実施

- ・バス代及び活動経費の高騰
- ・菊陽町内全校で上記のとおりに変更



詳しい期日につきましては、年度末にはお知らせできると思います。よろしく申し上げます。